

証明書のコンビニ交付開始

問い合わせ 市民課戸籍住民登録係 (☎028247)

市内27店舗で受け取りが可能

市民の利便性向上のため、マルチコピー機を設置している店舗で住民票などの証明書が受け取れるようになりました。

2月3日、市内のコンビニで交付サービス開始式典が行われ、片岡市長や地域住民らが参加。式典後、デ



マルチコピー機を操作する富岡さんら

モンストレーションとして住民票を取得した富岡順子さん(黒尾)は、「画面の指示に従って簡単に操作できた。家の近くに市の窓口がないので助かります」と話しました。

市内で交付サービスが利用できるのは、セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、山陽マルナカ、ニシナの27店舗。利用時間は午前6時30分から午後11時まで(店舗の営業時間内。年末年始を除く)です。取得できる証明書は、住民票、印鑑証明、戸籍謄(抄)本、戸籍附票、所得・課税証明の5種類。サービスを利用するにはマイナンバーカードとカード取得時に設定した4桁の暗証番号が必要です。

福祉

全国屈指福祉会議を開催

問い合わせ 政策調整課 (☎028213)

地域との連携強化を目指す

市の福祉施策について協議・検討を行う、今年度2回目の全国屈指福祉会議を1月23日、市保健センターで開催しました。

た「福祉王国プログラム2020」を発表。住民一人ひとりに寄り添った支援を実現するため、地域との連携を強化する方針が示されたほか、各分会から重点的に取り組む施策について報告がありました。



各分会の関係者や市の幹部らが集まった全国屈指福祉会議

【子ども虐待ゼロ部会】
児童虐待の通告などから24時間以内に初期対応

【健康ゲット部会】
「歩得」健康商品券事業で健康づくりを推進。医療費抑制1億円を目指す

【障がい者支援部会】
障がい者就労継続支援A

【高齢者支援部会】
そうじや台帳を整備し見守りを強化

【ひきこもり支援部会】
ひきこもりの人の居場所を

防災マップ作成ワークショップ開催



現地で確認した情報をマップに反映させる

1月18日、地域の防災力を高める活動の一環として、見延・宍粟地区で防災マップ作成ワークショップが開催されました。

参加者は、グループに分かれて各地域を歩きながら、避難場所や危険な場所、災害時に役に立つ場所などを確認。写真やメモを基に情報をまとめ、オリジナル防災マップを作成しました。

問い合わせ 危機管理室 (☎028599)

【待機児童ゼロ部会】
保育施設の整備

【発達障がい児支援部会】
配慮を必要とする子ども

【高齢者支援部会】
そうじや台帳を整備し見守りを強化

【障がい者支援部会】
障がい者就労継続支援A

【ひきこもり支援部会】
ひきこもりの人の居場所を

市内5カ所 緊急用サイレンを設置

災害時などに危険を知らせる地区緊急用サイレンを市内5カ所(右図のとおり)に設置。1月26日から2月9日にかけて、地区の代表者と市職員が音や操作方法の確認などを行いました。



サイレンのテストを行う

サイレンを使用するのは、市から避難に関する情報が発令されたときや事故など、突発的な事案が発生したときです。そのほか、ダムの事前放流を行った場合などにも活用します。

問い合わせ 危機管理室 (☎028599)

サイレン設置場所

